

名寄市議会一般質問

農地集積策で専任配置

離農希望者から聞き取り実施

【名寄】第1回名寄

市議会定例会は9日午後、佐久間誠議員(市民連合・凜風会)と山田典幸議員(市政クラブ・新緑風会)が一般質問を行った。

佐久間議員は平成28年度臨時福祉給付金・年金生活者等支援(傷害・遺族)給付金の対象、有害鳥獣駆除対策、JR宗谷本線問題などで質問。

消費税引き上げに伴う支援を目的とした同給付金の対象者周知で田辺俊昭健康福祉部長は、税法上の守秘義務が課せられているため、本人の同意なく調査できないとし、「総体の人数把握はできない。一方で、「対象となりえる人に対しては案内などを送付して周知している」と答えた。

また、高齢者の健康増進策では、介護予防を充実させるための高齢者の通いの場を創出する個人、団体に対して、活動費用などを助成する新事業「地域介護予防活動支援事業」に取り組みとして理解を求めた。

関係の講習会を開催するとともに、箱わなを準備して駆除支援対応するため、現段階では報奨金を出す考えはない。広域連携による有害鳥獣処理で「市内の焼却施設を有効活用することを基本としており、広域連携は考えていない」。

山田議員は、新年度からスタートする第2次名寄市農業・農村振興計画と、時数が減少傾向にある小中学校のスキー授業で質問。

同計画の考え方で、川田経済部長は「後継者や労働力不足、これに伴う経営規模拡大や農地集積などの課題に対応する」などと説明。

これに対して山田議員は「1次計画で示していた目指すべき姿が2次計画ではなくなっている。名寄の農業が目指すべき姿、指針を明確化するとともに、分かりやすいダイジェスト版を作成すべき。また、計画の中の農地集積対策にも力を入れるべき」と指摘。

川田経済部長は「分かりやすい計画となるようまとめたい」とし、農地集積で「専任の農業推進アドバイザーを配置して、離農希望者から聞き取りを進め議論を深めている」。

小中学校で年間12時間程度取り組んでいるとした上で、「上川管内は年間10時間程度が多いことから、適切な授業時間と認識している」。

ゲレンデスキー授業の指導者不足の課題で「専門知識、技術を持った外部指導者を有効活用した複数指導体制が重要。現在はボランティアアスキー指導員を外部講師に手助けしてもらっており、今後も各学校で積極的に活用したい」と答えた。

山田議員が、冬季スポーツの拠点化やスキー人口の底辺拡大などに結び付けるとともに、スキー初心者にも

やさしいスノーエスカレーターで「ピヤシリデは初心者には傾斜がきつい。指導者負担の軽減や小さい子どもたちもスキーを楽しめるよう、第1ゲレンデの傾斜の緩い場所にスノーエスカレーターを整備すべき」と提案。

水間剛営業戦略室長は調査、研究するとして理解を求めた。

(秋元)

自動車・火災 各種保険
がん保険 医療保険

株式会社